

第Ⅱ期高知県脱炭素社会推進アクションプラン（案）意見公募の結果

実施期間：令和6年2月27日（火）～3月20日（水）

提出意見：2件（意見提出者 2者）

	項目	意見の概要	対応
1	再生可能エネルギー導入支援 （小水力発電）	小水力発電支援の具体策が不足・不明。 未開発の河川、既存のダム・堰の上流での開発（系統連系に関する支援や住民等との合意形成の仲立ち、工事の同時発注等）や、メンテナンス事業者の育成等を支援していただきたい。	本県では、小水力発電を活用した脱炭素化の取組を行う自治体が脱炭素先行地域に選定されています。今後、そうした先行事例の横展開を考えていく中で、具体的な支援方法等を検討する際にはいただいたご意見も参考にいたします。
2	柱3 オール高知での取組の推進① 【県の率先垂範】 ・県有施設への太陽光発電設備の導入推進	太陽光パネルや蓄電池などについて新たな素材や技術の開発が進んでいるものの、事業者による新素材等の導入までは至っていない。県有施設へ太陽光発電を導入する中で、新素材の導入を検討・効果を検証することで、県内事業者による導入への波及が期待される。また、ソーラーカーポートの導入についても、県内での普及が遅れている状況にある。災害対策の面も含めて、同様に県有施設で蓄電池併設型ソーラーカーポートを導入することで、県内への普及が期待される。	本アクションプランに直接の掲載はありませんが、今後、県有施設への太陽光発電の導入について具体的な実施方法等を検討する際には、いただいたご意見も参考にいたします。